

2021年4月27日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	Mineral trioxide aggregate (MTA) による逆根管充填を併用した歯根端切除術
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	歯根端切除術が必要な患者
承認日	2021年4月13日
対象期間	承認日から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】 未治療の大きな虫歯や、歯の神経を取り除いた歯の根（歯根）には、嚢胞（膿の袋）ができることがあります。また、あごに発生する他の嚢胞や良性腫瘍の中に歯根が含まれる場合、これまでは抜歯が行われてきました。しかしながら、現在では病巣の摘出と同時に歯根の先端を切除する方法（歯根端切除術）を行い、歯を温存できるようになってきています。一方で、手術後に炎症や病変が再発することがあり、当科ではより精密に手術を行うため、手術用顕微鏡を併用し手術することが可能な施設基準を取得しています。さらに、切断した歯根の断面をセメント材料で封鎖することで、より高い成功率が期待できますが、国内で適応がある材料がありません。Mineral trioxide aggregate（以下、MTA）は、歯の神経が露出した部分に使用する適応があり、生体との親和性も高く、封鎖性にも優れる材料となります。当科ではこの MTA を歯根端切除術を行った歯根の断面に適応外として使用します。</p> <p>【想定される不利益と対策】 国内で適応のある歯の神経露出に対する使用において、これまで大きな有害事象の報告はありません。一般的な手術後の腫れや痛みなどのリスクが大きくなることはありません。まれに MTA 脱落による感染が生じることがありますが、保険診療範囲内で適切な治療を行います。</p>
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111（内線 6293）

以上